はたらくを楽しもう®
Intelligence

News Release

2012 年 12 月 27 日

株式会社インテリジェンス

中国法人、「転職市場レポート 2012」を発表

日中問題で一時求人数減も、10 月には回復　前年比 6.7%プラスに

総合人材サービスの株式会社インテリジェンス（本社：東京都千代田区、代表取締役兼社長執行役員：高橋広敏）は、中国法人（上海本社）の転職サービスに寄せられた新規求人数をまとめた「上海　転職市場レポート 2012」を発表いたします。

■全体概要　―　前年比 6.7%プラス　尖閣諸島問題の影響で一時ニーズストップも、10 月以降回復

2012 年 1 月～11 月に、インテリジェンス中国・上海本社に寄せられた新規求人数は 7,058 件で、前年比+6.7%となりました。昨年は 2 月にあった旧正月が 2012 年は 1 月になったことで、1 月の求人数は前年同月比マイナスに。その後は順調に推移しました。しかし、9 月尖閣諸島問題における日中関係の悪化から、企業が出店および採用計画を一時的にストップする動きも見られ、前年・前月比共にマイナスに。10 月に入り、今後の見通しもついたことで採用を再開した企業も増え、前年比+26.4%まで回復しました。11 月には求人数は微減。2012 年前半において大幅に採用人数を増員したことから、年内の採用活動を中止する企業も多くなり、採用ニーズが一服感を見せたようです。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	1～11月計
求人数	380	757	701	646	730	648	642	693	595	642	624	7058
前年同月比	-33.8%	75.6%	6.4%	15.6%	13.7%	-2.0%	0.2%	5.0%	-6.4%	26.4%	-3.3%	6.7%

■主な業種別　―　衣料、化粧品、食品など中国マーケットを狙った「消費財」の進出が盛んな一年に

2012 年 1 月～11 月の求人数の前年同月比を主な業種別にみると、最も伸びたのは「物流」系で前年比+25.6%。次いで「消費財」（+21.1%）、「貿易/販売」（14.9%）となりました。2000 年代前半から中国に進出している自動車・電気・機械製品を中心とした「製造」は−1.1%と微減し、進出の一巡とともに採用も落ち着きをみせています。

今年はアパレルや食品など中国国内での販売を目的とした「消費財」の進出が相次いだ年で、8 月には前年比 2 倍を超える求人が寄せられました。その影響で、商品の日中の行き来や現地での流通を確保するため「物流」「貿易/販売」の業務量が増加し、人材ニーズが高まる動きも起きています。

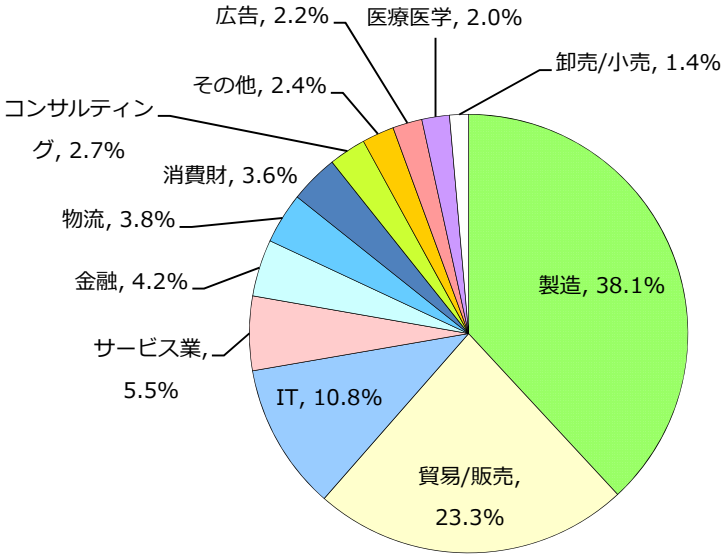
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	1～11月計
IT	16.3%	108.3%	33.9%	43.5%	8.7%	-22.7%	41.0%	16.7%	-29.3%	95.9%	-31.5%	13.5%
サービス業	-44.9%	39.3%	-33.3%	31.8%	-17.6%	-17.0%	27.0%	100.0%	72.4%	22.2%	14.8%	7.2%
金融	33.3%	69.2%	37.5%	0.0%	6.5%	26.3%	-54.2%	34.8%	-38.5%	40.9%	-42.5%	6.1%
消費財	0.0%	127.3%	47.4%	41.2%	-37.1%	31.8%	10.5%	118.2%	-10.5%	72.2%	-23.1%	21.1%
貿易/販売	-34.6%	92.1%	9.1%	20.2%	29.0%	-4.2%	-5.5%	16.7%	26.9%	22.7%	26.5%	14.9%
物流	-26.3%	50.0%	33.3%	47.1%	16.0%	22.7%	38.1%	122.2%	5.3%	-36.4%	35.7%	25.6%
製造	-49.6%	71.5%	-8.2%	15.6%	14.2%	-12.7%	-2.0%	-13.6%	-19.3%	15.4%	8.6%	-1.1%
総計	-33.8%	75.6%	6.4%	15.6%	13.7%	-2.0%	0.2%	5.0%	-6.4%	26.4%	-3.3%	6.7%

■2013 年予測　―　2013 年は「従業員の定着」が課題に　サービス業の進出はますます増加

2013 年は、飲食や小売などのサービス業の進出・事業拡大に伴う求人増加が見込まれます。一方で既に進出している企業でも、求人増加の動きはまだ続きそうです。日本同様に好調な E コマース、スマートフォン向けゲーム開発企業など IT 業界のほか、メーカーでは、中国内で販売する製品の設計、製造の動きが 2012 年後半から高まりを見せており、この動きは 2013 年も続くと見込まれます。

また、新規進出が落ち着いた企業で次に課題となるのは「従業員の定着」です。いかに現地の従業員のモチベーションを高め、サービス品質を上げる評価や教育制度を整備するかが、良い人材の定着のカギとなります。日本と違う文化下で、どのような制度で社内を活性化させるかは、今後多くの企業にとって、成長のカギとなるでしょう。

本件に関するお問合せ先
http://www.inte.co.jp/corporate/other/inquiry.html

【 調査概要 】
■調査期間 ： 2012 年 1 月 1 日～2012 年 11 月 31 日
■調査方法 ： インテリジェンスの中国法人、英創人材服務（上海）有限公司が運営する転職サービスに寄せられた新規求人数を集計

【 インテリジェンス中国 求人データ属性 】
＜求人構成＞
※求人数の約 8 割が日系企業